

スーパーマーケット景気動向調査

2015年9月調査結果（8月実績）

（9月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

9月調査（8月実績）結果概況

景気判断、現状判断DIは50を維持も見通し判断DIは46.9と下落、先行きに不安も

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-0.5の50.6、見通し判断前月から-2.4の46.9となり、引き続き、現状判断は50を上回る水準を維持ししているものの、見通し判断はやや下落幅が大きく、50を大きく下回る結果となった。

経営動向調査結果では、総じて前月から大きな変化はみられなかった。生鮮品や食品の仕入原価DIが高止まりしていることで、販売価格DIや客単価DIを高水準で維持している。来客数DIは3ヵ月連続の小幅マイナスとなった。

カテゴリー動向結果は、月の前後半で気温差が大きい月となり、記録的な猛暑となった前半が好調、後半は失速するカテゴリーが多かった。また、これまで好調が目立っていた畜産カテゴリーが、やや大きく下降している。好天が続いたことでお盆商戦は総じて好調となっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、すべてのDIが前月に比べ下落しており、特に見通し判断DIの下落幅が大きくなっている。すべての見通し判断で、判断の分かれ目となる50を下回る水準に低下しており、先行きにやや不安をのぞかせる結果となった。また、6月以降は下落傾向が続いており、堅調に推移してきた中長期トレンドにも変化の兆しがみられるようになっている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：50.6 (-0.5)
前月：51.1

消費者購買意欲DI
当月：50.8 (-1.5)
前月：52.3

周辺地域 競合状況DI
当月：44.8 (-0.3)
前月：45.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：48.9 (-1.2)
前月：50.1

見通し判断

景気判断DI
当月：46.9 (-2.4)
前月：49.3

消費者購買意欲DI
当月：47.9 (-3.5)
前月：51.4

周辺地域 競合状況DI
当月：41.8 (-0.9)
前月：42.7

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：47.2 (-2.5)
前月：49.7

経営動向調査

経営状況

売上高DI
当月：3.7 (-0.5)
前月：4.2

収益DI
当月：1.4 (-0.7)
前月：2.1

販売価格DI
当月：12.8 (+0.5)
前月：12.3

客単価DI
当月：10.9 (+0.2)
前月：10.7

来客数DI
当月：-3.5 (+0.7)
前月：-4.2

生鮮品仕入原価DI
当月：16.5 (+1.2)
前月：15.3

食品仕入原価DI
当月：12.7 (-2.1)
前月：14.8

カテゴリー動向

青果DI
当月：15.1 (-0.4)
前月：14.7

水産DI
当月：-2.2 (-0.8)
前月：-1.4

畜産DI
当月：1.3 (-7.5)
前月：8.8

惣菜DI
当月：12.1 (+3.0)
前月：9.1

日配DI
当月：1.9 (-0.6)
前月：2.5

一般食品DI
当月：-2.1 (+1.3)
前月：-3.4

非食品DI
当月：-6.0 (+1.7)
前月：-7.7

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

9月調査（8月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

横ばいでの推移も、5ヵ月連続でプラス圏を維持

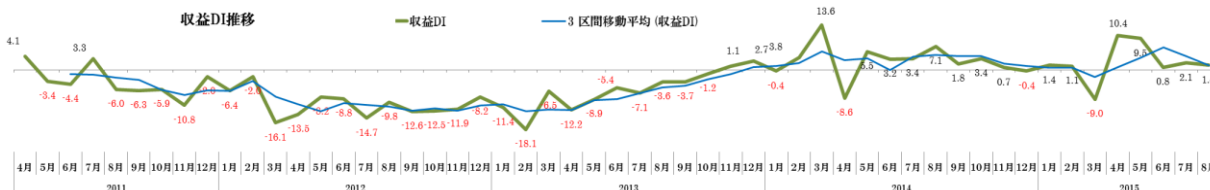
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	4.4	19.3	33.8	40.4	2.2	4.2
売上高（当月）	3.5	19.9	35.8	39.8	1.0	3.7



2. 収益DI

横ばいでの推移も、5ヵ月連続でプラス圏を維持

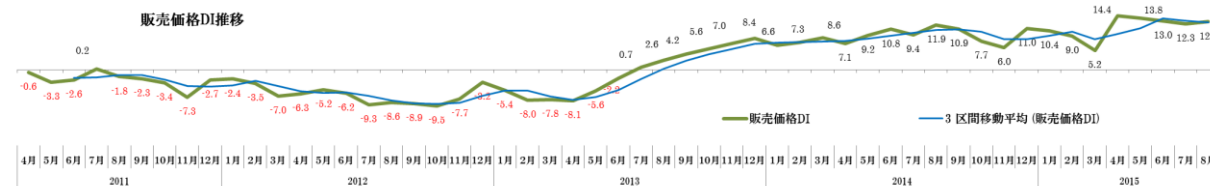
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	5.4	21.2	36.5	33.3	3.6	2.1
収益（当月）	4.1	22.6	39.0	32.3	2.1	1.4



3. 販売価格DI

やや落ち着きをみせるも5ヵ月連続で二桁のプラス

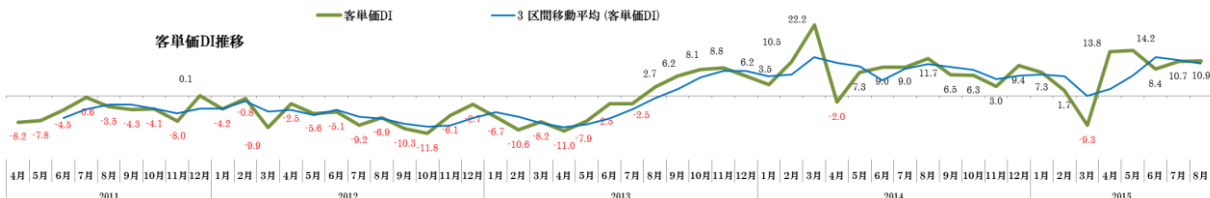
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	4.9	41.6	53.1	0.4	12.3
販売価格（当月）	0.0	3.0	43.9	52.0	1.0	12.8



4. 客単価DI

引き続き高水準を維持し、5ヵ月連続のプラス

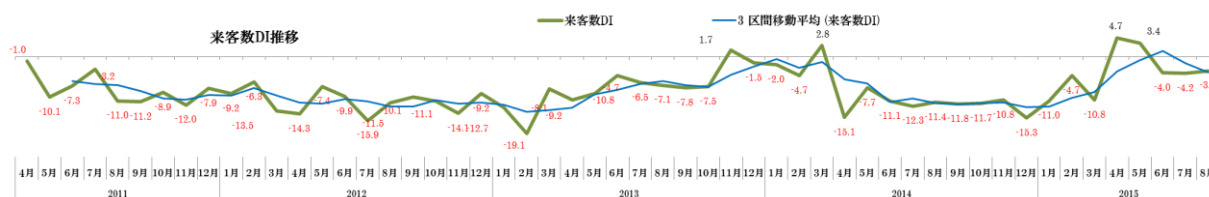
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	11.1	36.0	52.0	0.9	10.7
客単価（当月）	1.5	9.5	34.2	53.3	1.5	10.9



5. 来客数 DI

ほぼ横ばいでの推移となり、3ヵ月連続のマイナス

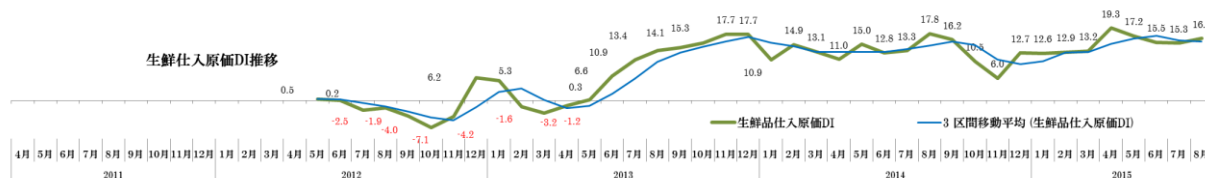
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.8	31.6	36.9	25.3	0.4	-4.2
来客数 (当月)	6.0	28.5	39.0	26.5	0.0	-3.5



6. 生鮮仕入原価 DI

青果・畜産・水産の相場高により引き続き高水準を維持

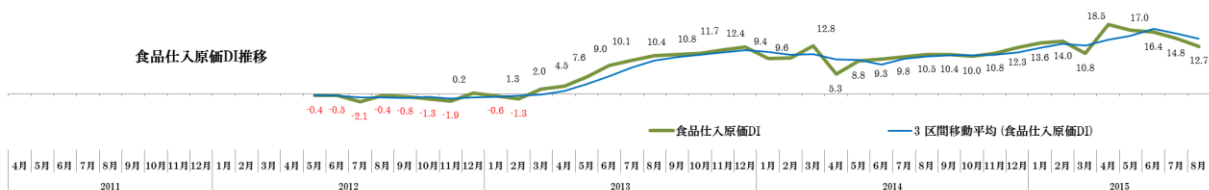
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.9	3.2	33.8	58.0	4.1	15.3
生鮮仕入原価 (当月)	0.5	3.1	34.7	53.6	8.2	16.5



7. 食品仕入原価 DI

やや落ち着きを見せるも、引き続き高水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.3	3.6	32.7	59.2	3.1	14.8
食品仕入原価 (当月)	1.5	5.1	36.5	54.8	2.0	12.7

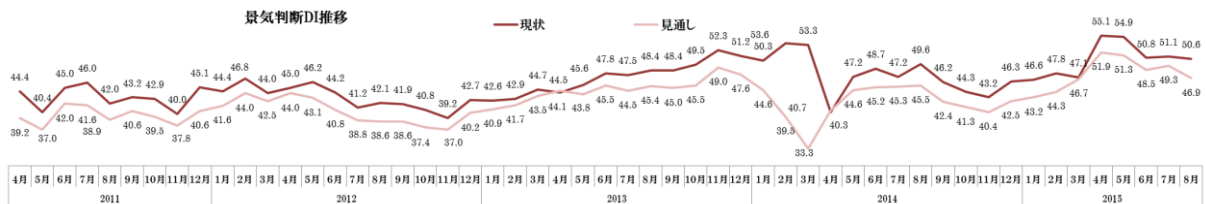


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状は横ばい推移で50を維持するも、見通し判断は下降し3ヵ月連続で50を割り込む

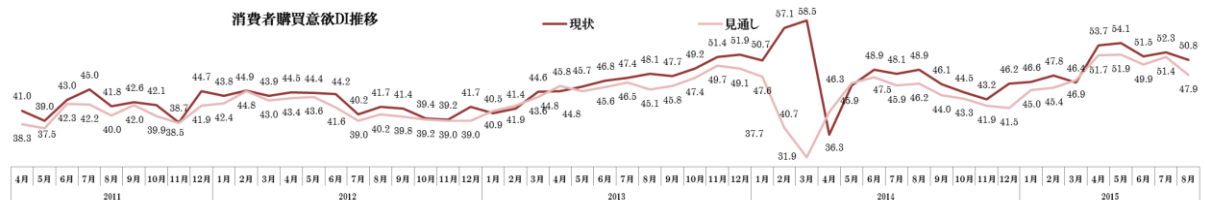
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	0.9	15.4	62.3	21.5	0.0	51.1
【現状】景気判断 (当月)	1.5	14.1	65.3	18.6	0.5	50.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	1.3	17.9	62.9	17.9	0.0	49.3
【見通し】景気判断 (当月)	2.5	20.0	65.5	11.5	0.5	46.9



2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通し判断共に下降し、見通し判断は50を再び割り込む

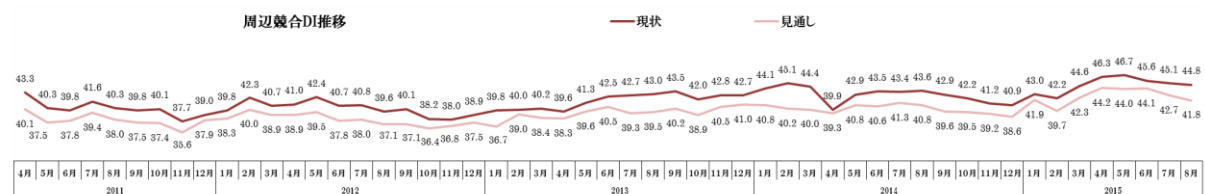
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.4	10.6	68.7	19.8	0.4	52.3
【現状】購買意欲 (当月)	1.5	11.1	70.2	17.2	0.0	50.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.4	9.6	73.7	16.2	0.0	51.4
【見通し】購買意欲 (当月)	1.5	15.1	73.9	9.5	0.0	47.9



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

大きな変化はなく横ばい傾向

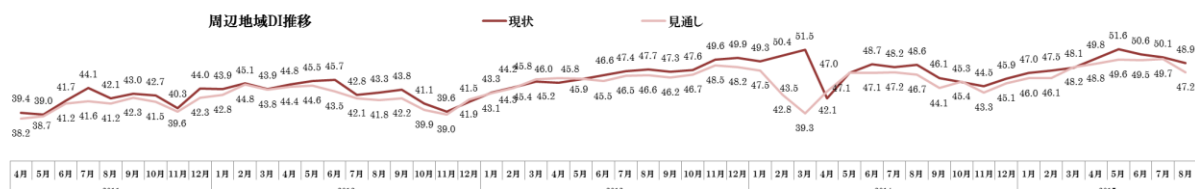
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.6	19.3	73.2	4.8	0.0	45.1
【現状】競合状況 (当月)	4.0	18.6	71.9	5.0	0.5	44.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.8	23.1	69.0	2.6	0.4	42.7
【見通し】競合状況 (当月)	7.5	23.0	65.0	4.0	0.5	41.8



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通しともに下降傾向が続く

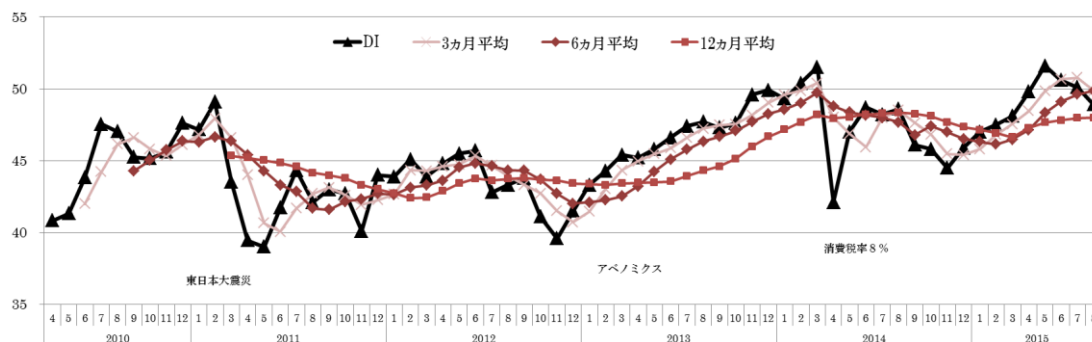
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	8.3	82.9	8.8	0.0	50.1
【現状】地域景気(当月)	0.0	11.6	81.3	7.1	0.0	48.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	10.0	81.2	8.7	0.0	49.7
【見通し】地域景気(当月)	0.0	14.6	81.8	3.5	0.0	47.2



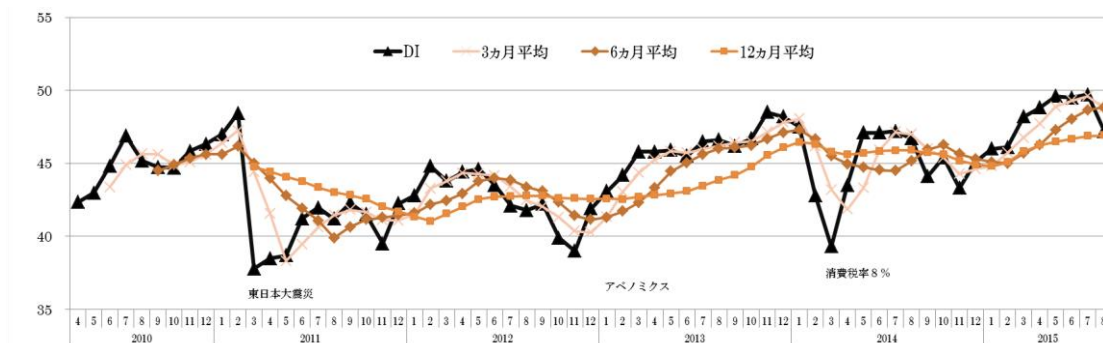
長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を一本調子に続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後、5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、5月に2010年の調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。6月以降は3ヵ月連続で下落を続けている。12ヵ月平均線は横ばいでの推移を維持しているものの、3ヵ月平均線は下降を示しており、景気判断は弱含みな傾向が顕著にみられるようになっている。

現状判断 (中長期傾向)



見通し判断 (中長期傾向)



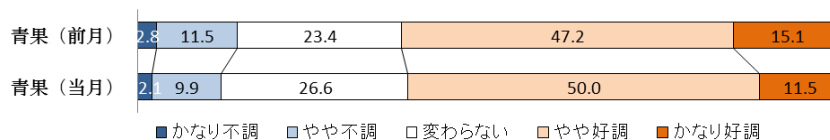
Ⅲ. カテゴリー別動向

カテゴリー別動向 DI による好不調判断

かなり好調：20 以上・好調：10～20・やや好調：0～10

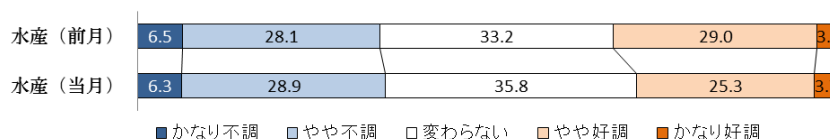
かなり不調：-20 以下・不調：-20～-10・やや不調：-10～0

1. 青果 DI：14.7（好調）



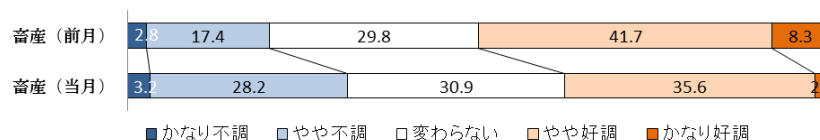
青果相場や果実が高値で推移した影響により一品単価の上昇がみられており、好調となっている。レタスを中心としたサラダ関連、カット野菜が好調である。果実に関しては、スイカやメロンを中心としたカットフルーツやギフト用果物を好調とするコメントがみられた。

2. 水産 DI：-2.2（やや不調）



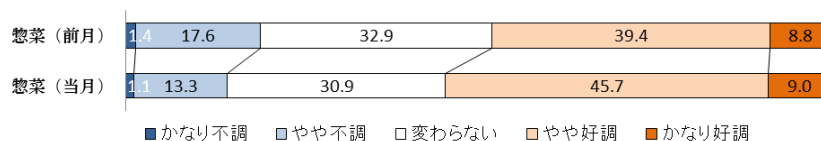
土用二の丑によるうなぎ、お盆に合わせた刺身類などが好調な一方で、相場の高騰や魚種や入荷量の不足により生魚が不振であり、カテゴリー全体ではやや不調となった。まぐろやさんまについては好不調のコメントに分かれる結果となっている。

3. 畜産 DI：1.3（やや好調）



引き続き相場が高い状況が続いているものの、牛肉（特に国産牛）が総じて不調となり、全体としてはやや好調となった。牛肉相場の高騰が続くなかで、お盆時期を除き、豚肉への需要のシフトを指摘するコメントが多い。鶏肉については好不調の判断がわかる結果となっている。

4. 惣菜 DI：12.1（好調）



土用二の丑のうなぎ関連、お盆用のオードブル等が好調となっており、カテゴリー全体では好調となった。夏休み需要に向けた米飯類を強化し、好調であったとのコメントがみられた。気温が上昇した地域では、揚げ物類や涼味商材が好調となった。

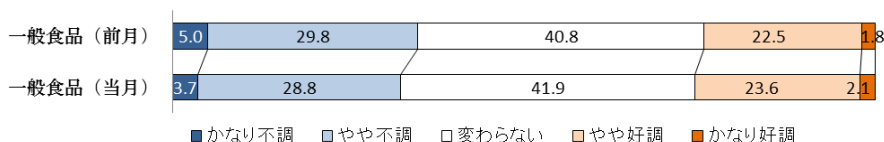
5. 日配 DI：1.9（やや好調）

前後半の気温差が大きくなったことの影響を大きく受け、カテゴリ全体ではやや好調となった。上旬は気温が高く、涼味関連（アイスや水物）が好調となり、下旬の気温の低下とともに大幅に売上を下げた結果となった。価格が上昇した乳製品については、好不調の判断がわかる結果となっている。



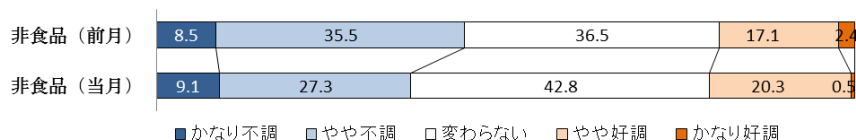
6. 一般食品：-2.1（やや不調）

気温が上昇した前半は、涼味商材や飲料、ビールなどが好調であったが、月末にかけて気温が低下すると不調となった。米の単価安による大幅な不振や昨年好調であった菓子が不調となり、カテゴリ全体ではやや不調となった。競合との価格競争の厳しさの指摘も目立った。



7. 非食品 DI：-6.0（やや不調）

気温上昇に伴う夏物、行楽商品の好調が散見されたものの、他業態との競合の影響でカテゴリ全体ではやや不調となった。紙類やたばこの不振をあげるコメントが多い。



2015年9月調査（8月実績）キーワードTOP3

1. 気温差が大きい（中旬以降の天候不順）
2. お盆商戦好調
3. プレミアム商品券

スーパーマーケット景気動向調査

8月実績速報版集計 213社

7月実績確報版集計 201社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp